

高知県

Kochi



【高知でよく使われる主な方言】

ハチキン〈向こう見ずな人〉	ンガイニ〈ひどく〉	タマルカ〈たいへんだ〉
イゴッソー〈頑固者〉	コーベル〈気取る〉	マケル〈こぼれる〉
ゲッピー〈びり〉	〜キ〈〜から〉	ク〈家〉
コジャント〈徹底的に〉	ンゴゼムシ〈ごきぶり〉	メッソー〈あまり〉
ノーンガワリー〈具合が悪い〉	〜チャ〈〜てば〉	ンゴクンドー〈怠け者〉
ゾーモム〈気をもむ〉	〜ロー〈〜だろう〉	エンコー〈河童〉
ヘンシモ〈一刻も早く〉	ヒセル〈泣き叫ぶ〉	イラレ〈せっかち〉



高知県23町村



東洋町	HP: http://www.town.toyo.kochi.jp/joho/html/index.htm
奈半利町	HP: http://www.town.nahari.kochi.jp/
田野町	HP: http://www.chugei.or.jp/tano/
安田町	HP: http://www.town.yasuda.kochi.jp/
北川村	HP: http://www.kitagawamura.jp/
馬路村	HP: http://www.inforiyoma.or.jp/umaji/
芸西村	HP: http://www.vill.geisei.kochi.jp/
本山町	HP: http://www.town.motoyama.kochi.jp/
大豊町	HP: http://www.town.otoyo.kochi.jp/
土佐町	HP: http://www.town.tosa.kochi.jp/
大川村	HP: http://www.vill.okawa.kochi.jp/
いの町	HP: http://www.town.ino.kochi.jp/
仁淀川町	HP: http://www.town.niyodogawa.kochi.jp/
中土佐町	HP: http://www.town.nakatosa.lg.jp/
佐川町	HP: http://www.town.sakawa.kochi.jp/
越知町	HP: http://www.town.ochi.kochi.jp/
梶原町	HP: http://www.town.yusuhara.kochi.jp/
日高村	HP: http://www.vill.hidaka.kochi.jp/
津野町	HP: http://www.town.kochi-tsuno.lg.jp/
四万十町	HP: http://www.town.shimanto.lg.jp/
大月町	HP: http://www.town.otsuki.kochi.jp/
三原村	HP: http://www.vill.mihara.kochi.jp/
黒潮町	HP: http://www.town.kuroshio.lg.jp/

とう よう ちょう

東洋町

白浜海水浴場

四国屈指の遠浅の砂浜海岸、
潮騒と風を肌で感じられる。



白浜海水浴場(白浜海岸) / 白砂の美しい海水浴場。遠浅で湾になっており、波が穏やか、小さいお子様でも安心してご利用いただける。駐車場175台、トイレ、キャンプ場完備



ぼんかんくん

夏には、露店舗(海の家)が設置され、大勢の海水浴客で賑わう。地元では普通と感じる潮の満ち引きの差も、初めて見る人にとっては「普通じゃない」との声があがる。ドライブの休憩に、疲れを癒すひとときに...

「毎日か海の日」の高知県最東端の砂浜ビーチ「白浜海岸」は、ゆつくりとした時間が流れ、家族連れにも、若者にも、とっても優しい海岸。「海の家」やキャンプ場も隣接している。

※遠浅の海岸
岸から遠方まで水の浅いこと、白浜海岸は、岸から沖合に約50メートル程浅瀬が続く。



「海の家」東洋町は平成20年1月4日に営業を開始。東洋町の地場産品の直販を行うとともに、特産品を広くPRしている。町をあげてみなさまのお越しをお待ちしておりますので、ぜひ一度お立ちください。

【問い合わせ先】

白浜海水浴場 東洋町 産業建設課 TEL0887-29-3395

「海の家」東洋町 TEL0887-29-2116

生見海岸

プロの大会も開催される。
日本屈指のサーフィンスポット。

日本中のサーファーに名を知られた、有名な海岸。年中サーフィンに最適な波が立つため、関西を中心に国内はもとより、海外からも、サーフィン客が訪れる。特に夏から秋にかけては、プロやアマの大会が毎週のように開催されている。近年は海方メの産卵も確認され保護に努めている。
一年中使える温水シャワー、トイレ、駐車場を完備しておりますので、是非お越しください。



【問い合わせ先】

東洋町 産業建設課 TEL0887-29-3395



DATA

総人口 3,091人
世帯数 1,628世帯
面積 74.10km²
人口密度 41人/km²



奈半利町

な は り ち ょ う

歴史を感じる町 人いきいき地域輝く美しい町なはり

町並みを歩いていると、いたるところでその風情が目をはひく。伝統的な建造物を目にする事ができる。中でも横町と立町は古き時代の趣がそのまま残されている地区で、旧道から路地にかけて複雑な迷路の雰囲気が郷愁を誘う。旧道沿いに建てられた民家は、それぞれが風格を備え、在郷町とし

て栄えていた当時にそのままタイムスリップしたかのよう。ひととき目をひく赤レンガの蔵やレンガアーチの出入り口のある屋敷、石積み石堀に見られる巧みなバリエーション、どの家も意匠の中に風格をたたえ、変化に富んだ町並みである。



町内12ヶ所39件が登録有形文化財に登録されている。風格と趣のある奈半利の町並みが古き良き時代を静かに物語っている。



なはりごちゃん

黒潮踊る太平洋の恵み 「キンメダイ」 奈半利町一押しを 御賞味あれ

古くから土佐と都を結ぶ海路の要衝として栄えた奈半利町の一押しの特産品は「キンメダイ」。黒潮踊る太平洋の恵みを存分に受けた魚の味は絶品。



奈半利町一押しの特産品「キンメダイ」。ふるさと納税贈呈品としても注文殺到中。

【問い合わせ先】
奈半利町 地域振興課 TEL0887-38-8182

DATA

総人口 3,639人
世帯数 1,803世帯
面積 28.32km²
人口密度 128.50人/km²



波音と潮の香りが楽しめる「ふるさと海岸」。ふるさと海岸沿岸には約70種類のサンゴの群生が生息している。



観光の町 波音と潮の香りが あなたを待っている

町を訪れた方々に少しでもやすらいで貰えるようにと、石段とレンガで整備された「ふるさと海岸」。その周辺ではシーカヤックやシュノーケリング、サンゴウォッチング等のマリンスポーツを満喫することができる。



たのちよう

田野町



濱口雄幸旧邸

人は、その風貌からライオンと呼んだ

広大な屋敷に質素な建物、簡素な庭園、旧郷土の代表的な建物である。濱口雄幸は高知県が生んだ初の内閣総理大臣。明治二十八年東京帝国大学を卒業後、大蔵省、衆議院議員、内務大臣を経て立憲民政党の総裁になり、昭和四年に総理大臣となった。国民は

その重厚で誠実な人柄を「ライオン宰相」と呼び、厚い信頼と期待を寄せていた。

旧邸の前には、「なすことのいまだ終わらず春を待つ」の雄幸直筆の碑と胸像が立ち、町指定文化財となっている。



旧邸は昭和52年に田野町に寄贈され、昭和55年3月に修復工事がなされた。



【問い合わせ先】

田野町 教育委員会 TEL0887-38-2511



春には菜の花と桜、秋にはコスモスといった四季折々の花が咲き、町民の憩いの場となっている。

幕末に尊王攘夷を掲げ、投獄されていた武市瑞山(半平太)を救おうとして斬首となった清岡道之助を首領とする「二十三士」その無念の死を偲び、奈半利川刑場跡を「二十三士公園」とした。

二十三士公園 日本の夜明けを駆けた男たち！



鉄道「ごめん・なはり線」田野駅と一体となった道の駅「田野駅屋」は地元の商品が集まる直販コーナーや軽食・休憩コーナー、情報・発信コーナーを併設し、小さな田野町のすべてがギュッと詰まった施設である。
※レンタサイクルあり



高知県東部のほぼ中心となる当施設の情報・発信コーナーでは、様々な「生」の情報が入手できる

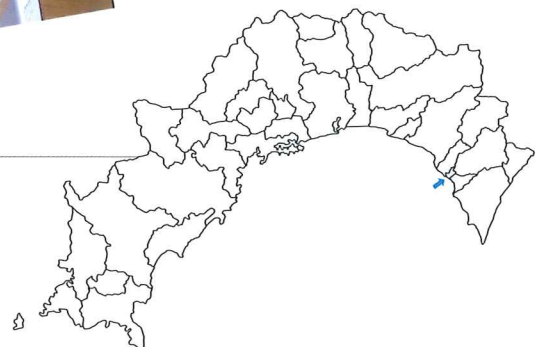
【問い合わせ先】

田野駅屋 情報発信コーナー
TEL0887-38-7820

道の駅・田野駅屋(たのえきや) 四国二小さな町の四国二元気な道の駅

DATA

総人口 2,982人
世帯数 1,322世帯
面積 6.56km²
人口密度 455人/km²



やす
だ
ちよう

安田町

懐かしく温かい、おだやかな町並み
安田まちなみ交流館「和(なごみ)」



ずーっと変わらずにここにあるおだやかな町並み。



時を超えて現代によみがえった土佐の名建築である。

清流・安田川の伏流水を利用した醸造業など商工業で栄えたまち、安田町。昔ながらの屋号を持ち、創業時の佇まいを色濃く残す商店や酒蔵のある町並みが残っている。古民家の旧柏原邸と旧市川医院が所有者から町に寄贈され修復し、安田まちなみ交流館「和」が誕生した。大正・昭和の文化が香るこの建物には郷土の輩出した幕末明治維新の先人たちを紹介・展示している。この交流館を拠点に古く良き町並みの散策を楽しんでください。



邸内にも高知県独特の建築技法が用いられている。

【問い合わせ先】

安田まちなみ交流館「和」 TEL0887-38-3047



神峯寺



この岩清水は「土佐の名水40選」に指定されている。



神峯神社

神峯神社
人々の思いが重なる神峯(こうのみね)
神峯神社は日本でも最も古い社に属するといわれ、大山祇命(おおやまつみのみこと)、天照大神(あまてらすのおおみのかみ)、天児屋根命(あめのこやねのみこと)、応神天皇をあわせ祀っている。四国霊場27番札所の神峯寺は「屈指の難所」といわれるほど上り坂が続く。標高は450mに位置し、境内からは太平洋が一望できる。鐘楼の裏手に湧き出ている岩清水は多くのお遍路さんの渴いたのを潤してきた。



とうのはまへんろ君

DATA

総人口 3,058人
世帯数 1,336世帯
面積 52.30km²
人口密度 58.5人/km²

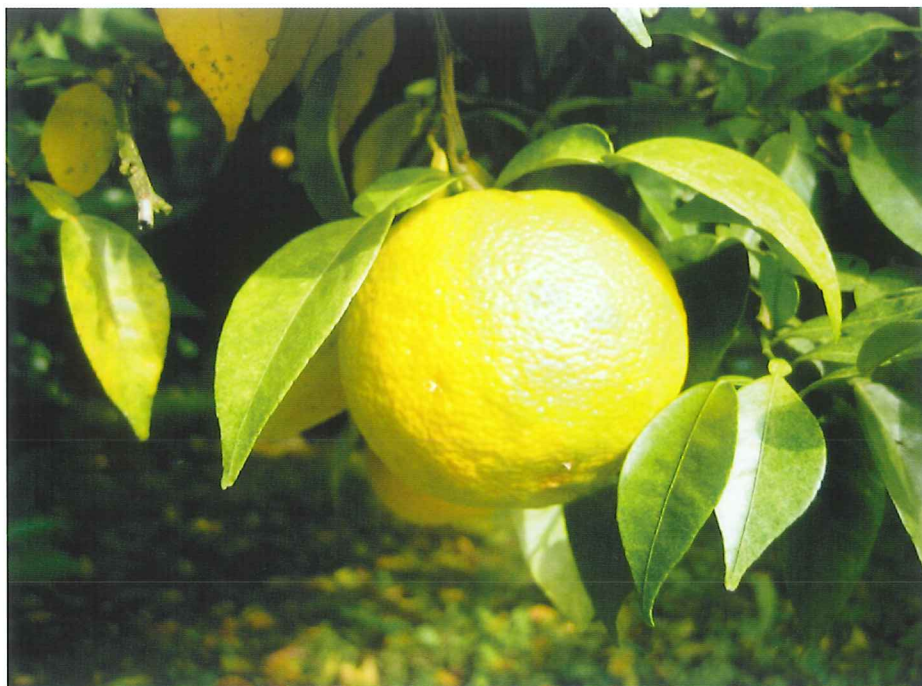


きたがわむら

北川村

ゆずの郷

中岡慎太郎が奨励した柚子づくり



北川村で生産された「柚子」。柚子の出荷時期には北川村は「柚子」の香りで包まれます。



幕末の偉人「中岡慎太郎」の生家。

【問い合わせ先】

中岡慎太郎館 TEL0887-38-8600

日本は柚子の消費・生産量が世界最大。その日本の生産シェア40%を占める高知県の4分の1の柚子は北川村で生産している。種から育てて実をつけるまでに15年以上もかかる「実生柚子」の出荷が県下で最も多い北川村の柚子は、香りが高く酸味が強いのが特徴だ。

柚子の栽培を奨励したのは村出身の幕末の志士「中岡慎太郎」。飢饉に苦しむ村人に柚子を塩代わりの防腐・調味料として使う事を奨励した事が始まりだった。今、慎太郎が奨励したその「柚子」が村を支えている。



北川村温泉「ゆずの宿」。泉質は日本でもトップクラス。

【問い合わせ先】

北川村温泉 TEL0887-37-2321



中岡慎太郎館

幕末の偉人「中岡慎太郎」の生涯を映像とパネルを中心にドラマチックかつダイナミックに紹介。その他にも刀剣や書物等の遺物も展示。

【問い合わせ先】

中岡慎太郎館 TEL0887-38-8600



北川村モネの庭マルモッタン

「花の庭」、「水の庭」、「光の庭」があり、「青い睡蓮」や「クロード・モネ」の名を冠したバラ等、ここでしか見る事の出来ない植物が溢れている。

【問い合わせ先】

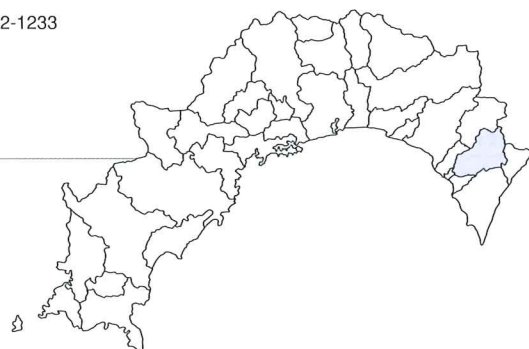
北川村モネの庭マルモッタン TEL0887-32-1233

世界でここだけ！
どこを見ても観光地

村の面積の95%を森林に覆われた山間の小さな村は、幕末の志士「中岡慎太郎」の故郷であり、フランス印象派画家クロードモネの愛した庭「モネの庭」を見事に再現し、世界で唯一正式にその名称を贈られた「北川村モネの庭マルモッタン」があり、ところどころの湯にリピーターが後を絶たない「北川村温泉」がある。その他にも国重要文化財の魚梁瀬森林鉄道遺構や歴史街道「野根山街道」などたくさん観光資源に囲まれている。

DATA

総人口 1,444人
世帯数 651世帯
面積 196.18km²
人口密度 7.36人/km²



うまじむら

馬路村

永遠のふるさと
柚の森、ゆずの森、交流の森、
そして、永遠の森。



村の子どもやおばあちゃんをモデルにしたラベル等のデザインも人気。田舎をまるごとお届けする。

【問い合わせ先】
馬路村農業協同組合 TEL0120-559-659

馬路村特別村民にならんかえ？ 特別住民票申請係

特典

馬路村に来た時は、役場に寄って特別住民票を見せて下さい。特別に、**村長と一緒に**に村長室で「ごっくん馬路村」が飲めます。
※村民が不在の場合は、ごめんさい。



オリジナルの村民証が発行される。

馬路村が好きで、小さな村を応援してくれる方ならどなたでも特別村民になれる。特典は、①村長室で「ごっくん馬路村」が飲める。②年1回、特別村民広報が送られてくる。現在の登録者数は5千人を超え、馬路村ファンに大きな力をもらっている。

【問い合わせ先】
馬路村役場総務課 TEL0887-44-2111

特別村民になって、
村長室で「ごっくん馬路村」を飲もう！

馬路村特別村民制度

「柚」(そま)杉の間伐材から生まれた「新しい木のカタチ」。角材を薄くスライスし、独自の工法により、バッグ、うちわ、ストラップなど、自然を守る気持ちが入められた商品を開発した。
【ゆず】昭和63年に馬路村公認飲料として誕生した、ゆずとはちみつドリンク「ごっくん馬路村」やぼん酢しよゆは、全国にリピーターをもつ。
【交流】バラ風呂、湯けむりピンポン大会などを企画し、おもてなしとあたたかい交流を大切にする。「うまじ温泉」。自慢の湯と地の素材を生かしたお料理で、ゆっくり、のんびりできる。



安田川の河原の石や間伐材の切り株をモチーフにした「monacca」バッグ。

【問い合わせ先】
(株)エコアス馬路村 TEL0887-44-2535



清流安田川のせせらぎと良質の温泉で、心もからだも癒される。

【問い合わせ先】
コミュニティセンターうまじ「うまじ温泉」 TEL0120-44-2026



高知県・馬路村

DATA

総人口 1,002人
世帯数 456世帯
面積 165.52km²
人口密度 6.1 人/km²



げいせいむら

芸西村

琴ヶ浜(ことがはま)

日本の白砂青松100選に 選ばれた美しい松林



琴ヶ浜松原野外劇場



海水プール芸西/目前に広がる美しい琴ヶ浜を眺めながら、海水が持つ天然の成分を利用したタラソテラピーで「こころ」も「からだ」も癒される。



赤いノボリが目印。地元産の野菜、朝どれの鮮魚や芸西村の特産品かっぱバーガーや黒糖入りビーマン味噌も販売!

波が引いてゆく時、砂が転がり海水の中に妙な音が聞こえることや砂丘の形状がふくれた琴の胴にも見えることから古きころより「琴ヶ浜」と呼ばれ人々に親しまれてきた美しい海浜。東西に約6キロメートルにおよぶ松林の中を抜けるようにサイクリングロードが整備されており、潮風とともに走るシーサイドサイクリングが人気の観光スポーツだ。美しい景観を利用した「観月の宴」など多くのイベントが開催される。周辺には海水を利用した「海水健康プール芸西」や「琴ヶ浜松原野外劇場」「地場産品直販所「かっぱ市」」があり来場客で賑わいをみせている。



【問い合わせ先】
芸西村 企画振興課 TEL0887-33-2114



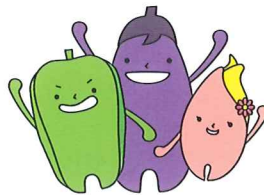
【問い合わせ先】
芸西村 企画振興課 TEL0887-33-2114

2011年1月、ドイツで開催された世界47カ国1500の出展者で開催される世界最大級の国際園芸見本市「I.P.M. ESSEN 2011」で切り花部門最優秀賞を受賞した芸西村のブルースター「ピュアブルー」。平成18年にブランド化したオリジナル品種であり鮮やかなブルーの花びらが星のように咲くのが特徴的。芸西村は全国シェア9割を占める一大産地である。花言葉は「信じあう心」。ブライダル業界では大人気の花である。

「ピュアブルー」 切花世界一! オリジナルブランド



坂本龍馬の妻お龍は、龍馬の死後、妹の嫁ぎ先である芸西村に1年ほど滞在していた。そのことを記念して建てられた姉妹像は、桂浜の龍馬像に手を振っているようにも見える。



野菜キャラクター(びーすけ・なつきー・みよみよ)

DATA

総人口 4,018人
世帯数 1,731世帯
面積 39.63km²
人口密度 101.4人/km²



本山町

もとやま ちよう

土佐天空の郷
四国山脈の白雲の彼方に
忽然と姿を現す”桃源郷“



「これほどの高峻の地でありながら、郷内に大河が流れ、樹木が栄え、田畑も多く、種の桃源郷であった」と司馬遼太郎の歴史小説『夏草の賦』で紹介されている本山町。そんな厳しくも豊かな自然環境で栽培されるお米が「お米日本一コンテスト in ずおか 2010」で最優秀賞を獲得した特別栽培米「土佐天空の郷」。激しい寒暖の差で磨かれ、室戸海洋深層水の滋味をたっぷりと蓄えた大粒のお米。その最高の甘味と旨味が多くの人の舌を唸らせている。



天まで連なる棚田。まさに「天空の郷」。

【問い合わせ先】
本山町農業公社 TEL0887-76-4333



「山の粟」1本720ml入り。



「どぶろく特区」に認定されている本山町で本格的に製造が始まったのは、平成23年4月のこと。美しい渓谷で知られる汗見川地域の山下どぶろく醸造所で本山町のどぶろく第1号「山の粟」が、ついに完成。「山の粟」は辛口の「猿ラベル」と甘口の「鹿ラベル」の2種類。どぶろくに続けとはかりに、町内では焼酎などの製造も計画されている。町中が甘みな香りで満たされるのも、もうまもなく。お酒好きには、本当に「桃源郷」といえる町になりそう。

猿も鹿も酔わずどぶろくを
飲んでみんかよ？
「山の粟」が体中にしみわたるぜよ

【問い合わせ先】
山下どぶろく醸造所 TEL0887-82-1311

DATA

総人口 3,929人
世帯数 1,917世帯
面積 134.21km²
人口密度 29.28人/km²



おおとよちょう

大豊町

ゆとりすとカントリーおおとよ

この地を訪れる全ての人が「ゆとり」を体感できる町



激流を下るスリル満点のスポーツ、ラフティング。大豊町から県境の数十Kmの間は、日本でも有数の激流ポイント。ラフティングの醍醐味はここでしか味わえないと言っても過言ではない。



森林の緑、美しい川のせせらぎ、のんびりとした山村のたたずまい、ゆったりとした時の流れ、ゆとりある山村の暮らし、そこは別天地「おおとよ」。吉野川の激流に挑む「カヌー」、「ラフティング」、渓谷に挑む「キャニオニング」、渓流を楽しむ「シャワークライミング」、雄大な自然を独り占め「キャンピング」、宇宙を独り占め「スターウオッチング」など、アウトドア派垂涎のアクティビティいっぱい元気な山村「おおとよ」。

訪れるすべての人々に「ゆとり」を体感していただき、暮らすすべての人が「ゆとり」を実感する、「ゆとり」とカントリー「おおとよ」。

こんな環境世紀にふさわしいの魅力いっぱい「おおとよ」をあなた自身で体感し、そして実感してみませんか。「ゆとりすと」たちが大歓迎。

溪流でクライミングやウォータースポーツの技術を応用しながら遊ぶキャニオニング。自然をまるごと体感できるアウトドアスポーツ。

【問い合わせ先】
大豊町役場 TEL0887-72-0450



碁石茶の里

日本で唯一の完全発酵茶

「本場の本物」大豊の碁石茶

碁石茶は約400年継承されてきた秘伝の製法で、精魂こめた60日間の手間と時間をかけたお茶。お客様にもお手数ですが、ゆつくりと時間をかけてこのお茶をお飲みいただきたい。そうすることにより「きつと碁石茶の風味と、長い歴史を感じていただけるもの」と思っています。

時間に追われる現代社会では、ゆつくりとお茶を...という時間は、なかなか作れないとは思われますが、どうか健康茶でもあるこの「本場の本物」大豊の碁石茶をご愛飲ください。



健康茶でもある「本場の本物」大豊の碁石茶。約400年継承されてきた秘伝の製法で、精魂こめた60日間の手間と時間をかけたお茶である。

【問い合わせ先】
大豊町役場 TEL0887-72-0450

DATA

総人口 4,836人
世帯数 2,593世帯
面積 314.94km²
人口密度 15.4人/km²



と さ ち よ う 土佐町

四国の水がめの町
森と水のいのちのふるさと



早明浦ダムは日本有数の貯水量を誇る多目的ダムで、春には2,000本もの桜が咲き誇る。



ダム直下ふれあい広場では、毎年8月第1土曜日日に「やまびこカーニバル」が開催され、大勢の人で賑わう。

四国のまん中、吉野川の源流域にある土佐町は、四国の水がめ早明浦ダムを有し、美しい棚田が広がる豊かな自然に囲まれた町。古くから良質の米づくりで知られ、土佐の三大米どころのひとつ相川米の産地でもある。早明浦ダムの上流の瀬戸川渓谷は、アメガエリの滝の迫力とともに、その上流に向けては紅葉シーズンには格段に美しさが増す。



アメガエリの滝(瀬戸川渓谷)



町内では、美しい棚田風景をあちこちで見ることができ、田植えや収穫のシーズンには県内外の写真愛好家が多数訪れる。

【問い合わせ先】
土佐町役場 産業振興課
TEL0887-82-2450



米粉パンと地域食材を組み合わせたご当地バーガーも人気。



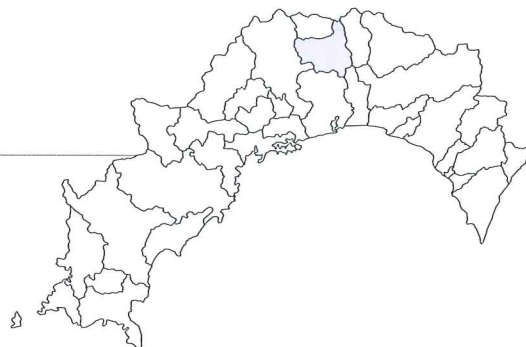
食パンや菓子パンなど100種を超える品揃え。

【問い合わせ先】
米米ハート TEL0887-82-0074

米粉パン
もちり、しっとり、
米粉の里の米粉パン
土佐町には、四国初の米粉工場があり、棚田でとれた良質米を原料にした米粉パンやカステラ、クッキーなどのお菓子、米粉入りうどんなどがある。お米のもっちり、しっとり感がパンや麺でもしつかり味わえる。

DATA

総人口 4,386人
世帯数 2,056世帯
面積 212.11km²
人口密度 20.7人/km²



おおかわむら

大川村

大座礼山

樹齢約600年のブナの巨木が
群生する大座礼山



頂上付近に突然現れるブナの巨木群。その姿は、見る者を圧倒する。



力強い夏のブナ。緑豊かで癒される。

初心者や小学生でも楽しめる大座礼山。山頂近くには、樹齢約600年ともいわれるブナの巨木群があり、壮大である。芽吹きから春から、緑豊かで力強い夏、紅葉を楽しめる秋、力強い生命力をうちに秘め、真っ白い雪の中、佇む冬、四季折々に姿を変え、見る者を楽しませてくれる。頂上までは、沢の多い自然林の中を歩く。雨天時は滑りやすくなりますので、ご注意ください。



【問い合わせ先】
大川村ふるさとむら公社 TEL0887-84-2201



四国の真ん中、日本一人口の少ない村(離島を除く)で、きれいな水と空気の中でのびのび育てている。

土佐はちぎん地鶏
ほどよい歯応えと地鶏
本来の旨みが味わえる
土佐はちぎん地鶏

高知県原産の日本鶏「土佐九斤」と「大軍鶏」をかけあわせ、「クキンシャモ」の雄に、増体性に優れた「白色プリマノロック」の雌を交配させて生まれたのが「土佐はちぎん地鶏」。しつかりと運動しているため余分な脂がない。雑味・臭みがなく、あっさりとした鶏本来の美味しさを味わえる。弾力がある肉質は噛むほどにうまみが濃く、鶏好きにはたまらない味わい。どんな料理にも鶏そのものの味を見事に発揮してくれる。

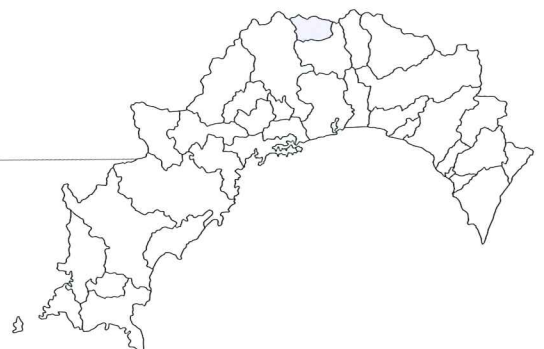


大川村で味わうことのできる土佐はちぎん地鶏の親子丼。土佐はちぎん地鶏の美味しさを存分に味わうことができる。

【問い合わせ先】
株式会社 むらびと本舗 TEL0887-84-2267

DATA

総人口 458人
世帯数 241世帯
面積 95.28km²
人口密度 4.81人/km²



いの町

いのち

土佐和紙の町
清流仁淀川とともに歩む



毎年5月に清流仁淀川を住民が製作した紙のこいのぼりが悠然と泳ぐ。紙の町の町ならではの風物詩である。

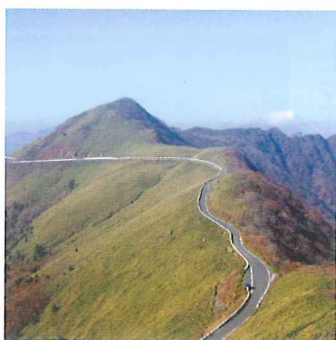
【問い合わせ先】

いの町産業経済課 TEL088-893-1115



【問い合わせ先】

いの町紙の博物館 TEL088-893-0886

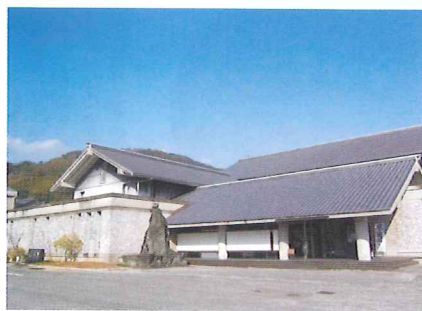


いの町道瓶ヶ森線（UFOライン）全長約17kmの山の稜線に沿って走る瓶ヶ森線

【問い合わせ先】

いの町本川総合支所産業建設課 TEL088-869-2115

土佐和紙の発祥地として知られ、緑豊かな山間を仁淀川が流れる美しい風景の中に、土佐和紙の伝統は息づいている。土佐和紙の魅力は息づいているほか、5月のGWには「不織布」という紙製品で作られたこいのぼりを仁淀川の水中に泳がせる「仁淀川紙のこいのぼり」も開催。町民、事業者、行政が一体となって豊かな自然と伝統を守り続けるいの町は、土佐和紙そのものように美しくやさしい町である。



1400年の歴史を持つ土佐和紙は、種類の豊富さと品質の良さが特徴。館内では「伝統的技法「流し漉き」による実演と紙漉き体験を実施している。



豊かな自然と心に出会えるまち

西日本最高峰石鎚山の望める瓶ヶ森線

標高13000〜17000メートルの尾根筋を走る眺望自慢のドライブコースは、別名「UFOライン」。春はツツジ、夏は新緑、秋は紅葉と四季折々の美しい風景が楽しめる。眼前には西日本最高峰石鎚山の姿も望める。

DATA

総人口 26,174人
世帯数 11,049世帯
面積 471.71km²
人口密度 56人/km²



に よど がわ ちよう

仁淀川町

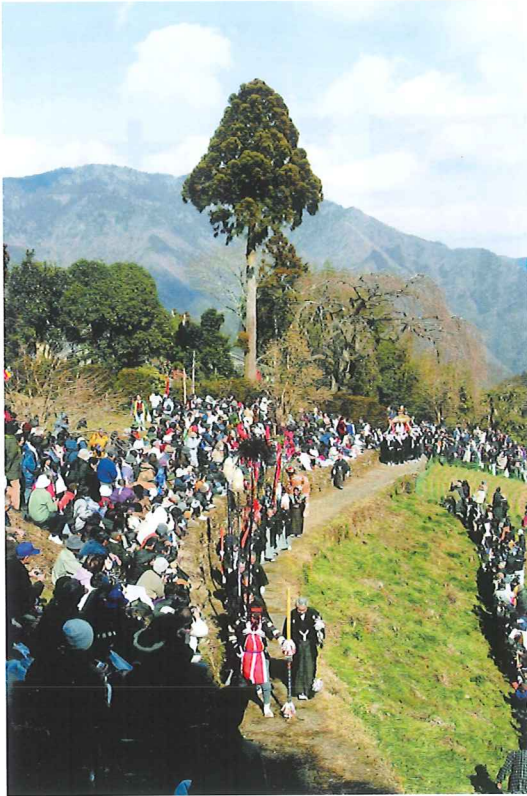
山、川、人——。

人と山、川との共生が、
私たちの町をつくりました。

緑が緑を重ねる四国山地の山のかど。落人伝説の歴史を秘めた辺境の山里。ここ、仁淀川町では、昔は日本のどこでも見られたふるさとの風景がゆっくりと流れている。

四季折々にいろいろな山や川の自然、そこから生まれた暮らしや文化、産物など、山里の慈しみの心から生まれた、ふるさとの宝物がいっぱいある。

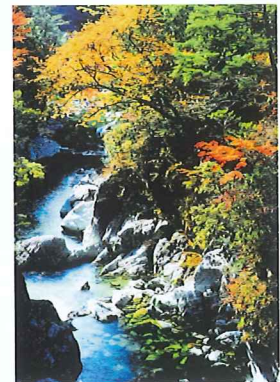
旅人は、川に遊び、森に癒され、里心にふれ、生きる力をもらって都会に帰る。



土佐三大祭の一つ「秋葉祭り」。厳寒の2月、重なり連なる山峡の里に火の神が舞い降り、残雪の山道を祭りの行列がひしめき上る。



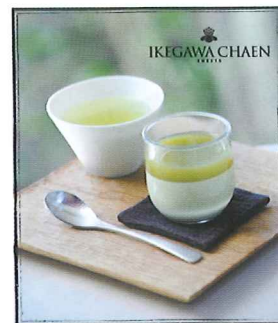
「ひょうたん桜」。開花前のつぼみがひょうたんの形をしている樹齢500年のウバヒガンザクラの巨木。



神秘の原生林が残る「安居渓谷」は、青みを帯びた断崖や奇岩・巨岩が松や紅葉に彩られる。



中四国一の茶産地、香りとコクの高さも全国トップクラス。



プレミアム茶畑プリン (かぶせ茶・ほうじ茶)
【ネット販売中】

【問い合わせ先】
(株)池川茶園 TEL0889-34-3100

茶農家のこだわり プレミアム茶畑プリン

茶農家の女性たちが作った池川茶園の素材にこだわったお菓子が好評販売中。大切に育てた最高級のかぶせ茶と地元天然はちみつを使用したプレミアム茶畑プリンや、「茶畑パウダー」など、生産者のお茶と仁淀川町に対する愛情の詰まった商品がそろっている。

「地元のお茶をたくさんの人に知ってもらいたい。」そんな気持ちで材料にもこだわり手作りしている。ギフトに、いつもの一服のお供に楽しんでください。

仁淀川町にお越しの際は是非お立ち寄りください。



高知県・仁淀川町

DATA

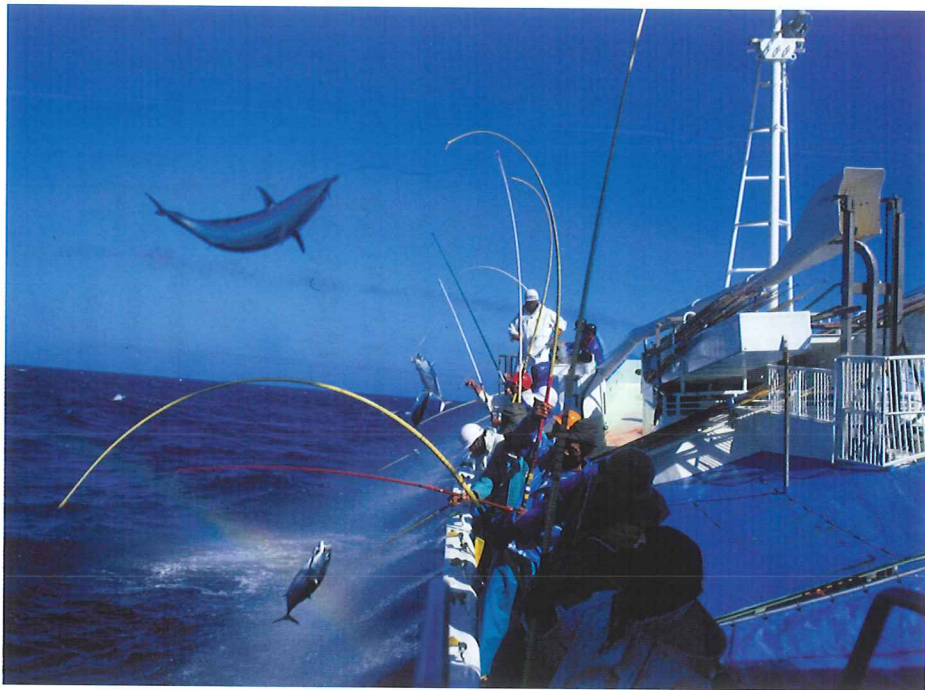
総人口 6,713人
世帯数 3,383世帯
面積 332.96km²
人口密度 20.16人/km²



なかとささちよつ

中土佐町

鯉乃國の物語
鯉二本釣りの町おこし



鯉の一本釣り



漁師町の風情を感じさせる港風景



四万十川と広がる農地

【問い合わせ先】
中土佐町 水産商工課 TEL0889-52-2473

四〇〇年以上前から続く鯉漁の町。漫画家青柳裕介氏の「土佐の一本釣り」の舞台となった町でもある。平成四年より「鯉」を主人公にしたまちづくりに取り組み、温泉宿泊施設、鯉のタタキづくりの体験施設、鯉のあらで育てた苳を使ったケーキショップを建設。町内外から多くの人が訪れている。また毎年五月の第三日曜日は「かつお祭」が催され、町の人口を大きく上回る一万八千人の人数にぎわう。

中土佐町久礼の港と漁師町の景観は、平成二十三年一月には漁師町として全国で初めて「重要な文化的景観」として文化庁の選定を受けた。

【問い合わせ先】
中土佐町役場 水産商工課 TEL0889-52-2473



鯉わら焼きタタキ



本流一番目「高樋の沈下橋」

四万十源流の里
四万十川と共に
生きてきた人々

四万十川の源流域に位置する中土佐町大野見地区。四万十川の清流は、ひとたび大雨となると、暴れ川と化す。人々は水の恵みと脅威と共に生きてきた。この地には本流一番目から三番までの沈下橋がかかり、四万十川添いには先人の開拓した豊かな農地が広がっている。豊かな台地は良質の米の産地であり、山は四万十松を生む。

平成二十一年一月には大野見地区の四万十源流域は国の重要な文化的景観としての選定を受けた。



くれ坊

DATA

- 総人口 7,960人
- 世帯数 3,584世帯
- 面積 193.40km²
- 人口密度 41.16人/km²



さ かわ ちよう

佐川町

歴史と文教のまち
酒・花・人がつむぐ
悠々の時を感じるまち



名教館(めいこうかん)／深尾家家塾として設立され後に郷校へ拡張。
江戸後期から幕末明治にかけ、多くの「文教人」を育てた。



佐川文庫庫舎(さかわぶんこしや)／須崎警察署佐川分署として
明治19年建築。その後、青山文庫閲覧室、佐川文庫、民具館等とし
て活用された。県下最古の木造洋館。



竹村家住宅

佐川町は、明治から大正にかけ、ま
た昭和から平成にも多くの「文教人」
を輩出してきた。
世界的植物学者牧野富太郎博士、
幕末勤王の志士であり元宮内大臣の
田中光顕伯を筆頭に、政治、文化、芸術
芸能などあらゆる領域で活躍した多
士済々は佐川の誇りである。
藩政時代佐川を治めた山内家筆頭
家老深尾氏の施策により培われた「文
教」の風土は、酒造り、桜、歴史的な街
並みとそれらを支える人々の活動等、
現在へ引き継がれている。

【問い合わせ先】

佐川町役場 TEL0889-22-1111



青山文庫(せいざんぶんこ)
山内藩筆頭家老深尾氏・坂本龍馬・中
岡慎太郎・田中光顕の直筆を含む藩政期・
幕末明治維新期の史料を展示。

【問い合わせ先】

青山文庫 TEL0889-22-0348

歴史的街並み

佐川町上町地区は、深尾家土居を中心に形成さ
れた「御郭内(ごかくない)の町人町」であり、藩政期
の姿をとどめた町割りや国指定重要文化財の竹村
家住宅、牧野公園の桜、酒蔵の街並みは、「歴史のまち」
佐川を体現するもの
である。

平成21年3月歴
史的風致維持向上
計画の重点区域に
認定。



司牡丹酒造の酒蔵

【問い合わせ先】

司牡丹酒造 TEL0889-22-1211

「酒造り」のまち
晩秋から初冬にかけて、佐川は得も
いえない芳香に包まれる。江戸初期か
ら続く造り酒屋があるため、酒のも
ろみが熟成する頃になると、芳醇な香
りは白壁の蔵塀から溢れて、風に乗っ
て四方に広がる。こうした風景・伝統・
香りは、400年の歴史を持ち、佐川
のまちに染みこんでいる。

DATA

総人口 14,159人
世帯数 6,238世帯
面積 100.84km²
人口密度 140.4人/km²



越知町

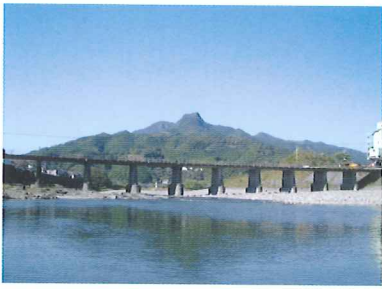
横倉山自然の森博物館
太古の森に耳を傾け、未来の地球を知る



トリケラトプスの化石



横倉山自然の森博物館



越知町のシンボル横倉山

【問い合わせ先】越知町役場 TEL0889-26-1111

日本最古のコンドントの化石、アカガシの原生林、ヨコグラツクバナ等の固有種の数々。偉大な植物学者、牧野富太郎先生が愛したこの山には、世界に誇れる数々の「みりよく」がある。そんな興味深い山「横倉山」が私たちの学びのフィールド。そしてそのベース基地が、世界で活躍する建築家、安藤忠雄氏が設計した「横倉山自然の森博物館」。

横倉山であなたにしかできない自然史を学ぶ楽しみを発見してください。



展示室

【問い合わせ先】横倉山自然の森博物館 TEL0889-26-1060

観光物産館おち駅
越知の魅力をまるごと発信
新鮮野菜などを販売する産市と観光協会による情報発信の複合施設。



観光物産館おち駅

【問い合わせ先】
観光物産館おち駅 TEL0889-26-1004

コスモスまつり

コスモスから広がる未来、かけがえない自然
町花は「コスモス」。毎年、秋には「コスモスマつり」が開催され、様々なイベントが行われる。



コスモスマつり



園内を優雅に1周する花馬車



舞台ではいろいろな催しが

仁淀川

“奇跡の清流”
仁淀川であそぼ体験
カヌー・ソフトラフティングで仁淀川をまるごと体験、自然を満喫。



ソフトラフティングで自然を満喫

DATA

総人口 6,456人
世帯数 2,996世帯
面積 111.95km²
人口密度 57.67人/km²



ゆす はら ちよう

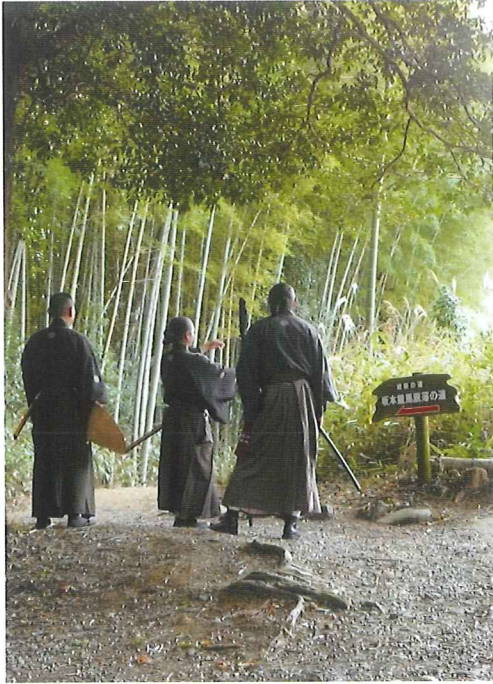
栲原町

雲の上の町 ゆすはら

栲原町の標高は220～1455mとかなりの高低差があり、町の面積の約91%を森林が占めている。人口は約3900人。高齢化率も40%を超えている山間のまち。県境の町として、古くから交通の要所として人々が往来し、茶葉を出してもてなす「茶堂文化」が生きている。

坂本龍馬脱藩の道

栲原町は坂本龍馬をはじめとする維新の志士が明日の日本を夢見て脱藩していった町でもある。志士の多くは志半ばにしていくなかで最後を遂げたが、彼等を慕う人々は今も尚、この「脱藩の道」を歩きにやってくる。昭和61年この道は「維新の道」として日本の道100選に選定された。



坂本龍馬脱藩の道



維新の門



四国カルスト(風力発電所)

環境のまち

栲原町には、太陽光や風力等自然エネルギーを利用した施設が町内各所に設置されており、現在町内で使う電気の二割は自然エネルギーでまかなっている。環境モデル都市にも選定され、水力発電、ゆすはらペレット工場、土づくりセンター、風力発電所をはじめとする栲原町の「風」「水」「光」「森」を活用した町づくりは全国的にも注目されている。

津野山神楽

栲原町の文化は「津野山文化」と呼ばれ、延喜13年(913)年、京より津野経高が土佐栲原に入国したことにより始まったとされている。津野山神楽は1千年余の歴史を感じさせる質素ながらも荘厳な舞いで、代々の神官により舞い継がれてきた。舞は全部で十八節からなり、正式に舞納めるに約八時間かかる。



津野山神楽

【問い合わせ先】神楽
栲原町 教育委員会 TEL0889-65-1350

雲の上のまちめぐり

栲原町には、日本三大カルストのひとつ「四国カルスト」、最後の清流「四万十川」、棚田オーナー制度発祥の地「千枚田」といった観光地の他、雲の上のホテル・レストラン、「雲の上の温泉」。「雲の上のプール」といった施設が揃い、多くの観光客を受け入れている。他にも「まちの駅」「雲の上のギャラリー」「栲原町総合庁舎」は町産材を活用した斬新な建物で、観光客も多く訪れる。

【問い合わせ先】環境・観光
栲原町 環境推進課 TEL0889-65-1250

DATA

総人口 3,850人
世帯数 1,795世帯
面積 236.51km²
人口密度 16.27人/km²



ひだかむら

日高村

トマト王国・日高村
人と人、人と自然が輝きあう
元気創造拠点・日高村



フルーツのような甘みと酸味が特徴の日高村特産の高糖度トマト「シュガートマト」

【問い合わせ先】

JAコスモトマト選果場 TEL0889-20-1620



中・四国最大級の約20万㎡の霧山茶園

高知市より西に車で約30分、高知県のほぼ中央に位置する「日高村」。清流仁淀川とその支流が流れ、ドウダンツツジをはじめメダカやトンボなど多くの自然と、土佐二ノ宮小村神社に伝わる県内に3つしかない国宝の1つ「金銅荘環頭大刀」など多くの文化遺産がある。恵まれた気候を生かし、トマトの生産がさかんで、フルーッとトマトの産地で有名な高知県の中で、ここ日高村のシュガートマトは県内の産地である。また仁淀川を望む丘陵地帯には中・四国最大級の茶園が広がり、名産の霧山茶が栽培されている。



土佐二ノ宮小村神社。毎年11月15日の大祭には、おなげや神事、餅投げ、国宝の拝観が行われる。

【問い合わせ先】

小村神社 TEL0889-24-7466



パックとゴックとこりゃいける。お客様のリクエストに答え茶種やサイズを変えて新しい商品がぞくぞく。

霧山茶業組合
TEL0889-24-4615



シュガートマトの規格外を利用してできた金色ジャム。NPO法人日高わのわ会
TEL0889-24-4004



芋を油で揚げて砂糖をまぶしただけの芋ケンピ。添加物や人工甘味料は一切使わず、おいしい芋で作っている。

波谷食品(株)
TEL0889-24-5131



村の農産物直販所「さんさん市」

【問い合わせ先】

さんさん市 TEL0889-24-5199

さんさん市は、国道33号沿いにある、日高村野菜直販市出荷者協議会が運営管理する農産物直販所。近くの農家から届くとれたて野菜はもちろん、加工食品など日高村の特産品が並ぶ。特産のシュガートマトを原料におかあさんがつくったトマトソースやトマトジャム、まろやかな旨みの霧山茶、昔懐かしい味わいの芋ケンピや手作りのおいしい日高みそなど日高ならではの「おいしい」が販売されている。

さんさん市
新鮮で安全な農産物や
日高の特産品の並ぶ店



もへいくん

DATA

総人口 5,664人
世帯数 2,487世帯
面積 44.88km²
人口密度 126人/km²



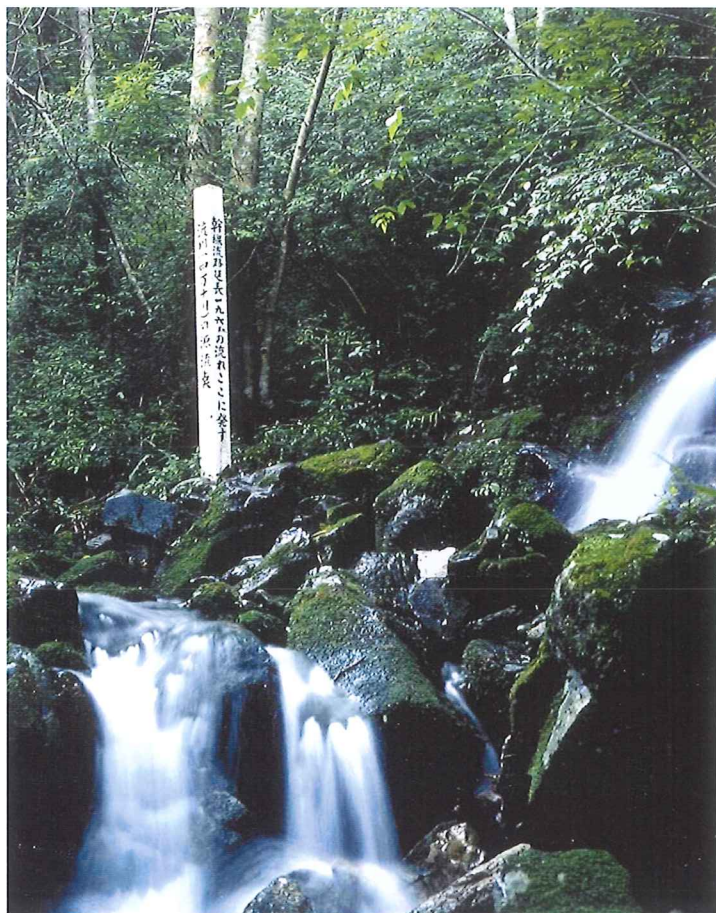
津野町

清流と風と歴史に会えるまち

津野町は、高知県の中西部に位置する面積198.22平方キロメートルの山間の町。四国山地に抱えられた地域は急峻で、町の約90%を山林が占め、東部を清流「新庄川」が東に、中央部を清流「四万十川」の本流が南に、西部を北川川が南西方向に流れ、どの地域も川沿いに集落が点在している。比較的温暖な気候だが、西部山間部地域では、冬季には60センチほどの積雪がある。

清流のある町

いわずと知れた全長約197キロメートルにも及ぶ日本最後の清流と呼ばれる「四万十川」。何かの偶然か河口の旧・中村市(現・四万十市)同様、この地の字名も船戸中村と言い、中村に始まり中村から太平洋へと源流の一滴がここから注がれる。



四万十川 源流点

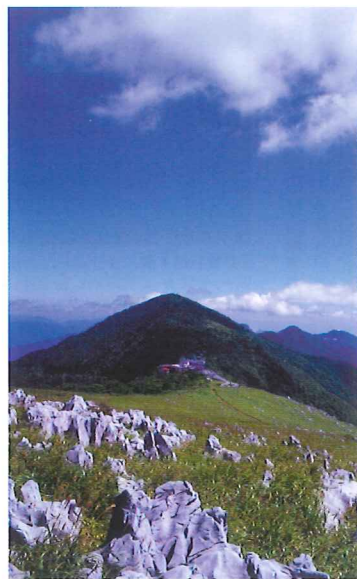
【問い合わせ先】

津野町 産業建設課 TEL0889-55-2021

緑の山々の上ですくと立つた白亜の巨大な風力発電施設20基がシュールな景観を醸し出している。羽根の直径は61メートル、タワーの高さは68メートル。平成18年春から民間事業者が稼働を開始。この北山の風車を間近に体験できるのが「風の里公園」。約4キロメートルの公園内には、「展望ゾーン」「風の広場」「森林浴の森」などが整備されており、天気の良い日には、風車はもちろんのこと、不入山や四国カルスト天狗高原、遠くは石鎚山や室戸岬まで見渡すことができる。



北山の風車



四国カルスト 天狗高原

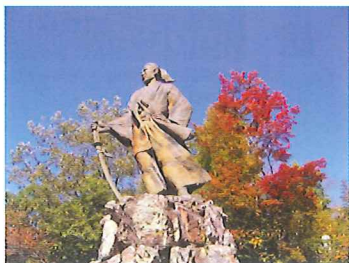
風を感じる町

標高1,000メートル以上の尾根が連なり、緑豊かな草原の中に、まるで羊の群れのようなカレンプ、エルトやドリネといった窪地など、独特の景観を見せる四国カルスト。

その東端に位置する天狗森(標高1,485メートル)の眼下に広がる高原。春は新緑、夏は高山植物、秋はススキや紅葉、冬は雪景色など四季折々の景観が楽しめる。

歴史に会える町

維新のために活躍した志士たちは津野町からも数多く輩出されている。中でも「吉村虎太郎」は2度の脱藩を繰り返し、27歳の若さで戦死した。土佐藩脱藩第1号といわれ、明治維新の魁となった。彼の銅像は、津野町役場西庁舎近くの高台にある。



維新の志士「吉村虎太郎」

【問い合わせ先】

津野町 教育委員会 TEL0889-62-2258

DATA

総人口 6,650人
世帯数 2,764世帯
面積 198.22km²
人口密度 33.55人/km²



しまんとちよう 四万十町

歴史と先人の知恵が息づく沈下橋
四万十川(沈下橋)



「一斗俵沈下橋」(いっとひょう)昭和10年に建設され、四万十川に現存する沈下橋の中で最も古い沈下橋として国の登録有形文化財に指定されている。

高知県は台風銀座。日本最後の清流といわれる四万十川も暴れ川と呼ばれ、その生活の知恵から生まれたのが沈下橋。橋げたを低くし、水が増すと川の中に沈み抵抗を弱める構造。橋の発達に伴い、だんだん数が少なくなりましたが、四万十川には無くてはならない風物になった。(四万十町内の四万十川には9箇所沈下橋が現存する。)



「茅吹手沈下橋」(かやぶくて)平成9年にJRのフルムーンポスターに利用され、加山雄三夫妻がロケに訪れたこともあり、観光地としても人気の沈下橋。



「上岡沈下橋」(かみおか)正式名称は「向山橋」。床板の下部が曲線を描いており、橋脚も丸みを帯びていて、ユニークなデザインで大変美しい沈下橋。

【問い合わせ先】

(社)四万十町観光協会 TEL0880-29-6004



二本の四万十川のモノケートテーマボールと大きな鯨がお出迎え。

海洋堂ホビー館 四万十 みたことない、 きたことないミュージアム

フィギュアの殿堂「海洋堂コレクション」が日本のへんびなところに一挙に集結した。これまで海洋堂が歩んできた1960年代からの歴史と実績を体感できるフィギュアの魅力がぎゅっしりと詰まったまさにホビーの聖地。この施設は、平成20年に廃校になった打井川小学校の体育館を改築してつくられた。過疎の地域に新たな人の集まりと賑わいを起こすという地域住民の思いがこめられている。わざわざいこう！へんびなミュージアム。



巨大カタローア船。帆船の傑作モデルを新たに巨大に作成した。



造形作家ギャラリー。ポーメを始とする造形作家は世界中から日本を代表するアーティストであると評価されている。

入館料:一般(高校生以上)800円 小中学生400円 ※未就学児は無料
開館時間:10:00~18:00 休館日:毎週火曜日、12月27日~1月3日)

【問い合わせ先】

海洋堂ホビー館 四万十 TEL0880-29-3355

DATA

総人口 19,480人
世帯数 8,808世帯
面積 642.06km²
人口密度 30.3人/km²

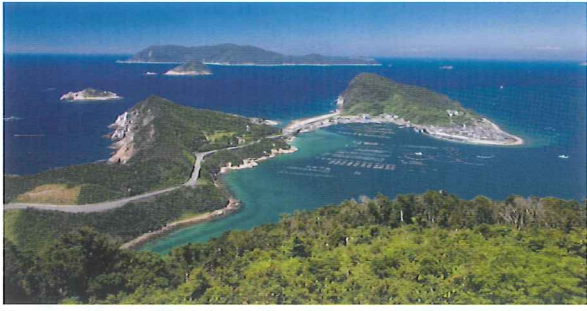


おお つき ちよう

大月町

人と自然がふれあう町 太陽とサンゴの海に遊ぶ

高知県の西南部、太平洋に抱かれ、豊後水道の玄関口にもあたる大月町は、海と山の豊かな自然に囲まれ、温暖な気候風土に恵まれた農業と漁業の町。周辺海域は黒潮の影響を強く受けるため、温帯域にもかかわらず熱帯域の生物も混生しており、磯釣りやダイビングスポットとして注目を集めている。一方、クリーンエネルギーを生み出す風力発電所の誘致にも取り組み、環境と観光の町として新しいステップを踏み出している。



大月町の西南端に位置する柏島。その美しい海に魅了され、夏には多くの観光客が訪れる。



約1,000種もの魚類や、多種多様なサンゴが生息しており、国内有数のダイビングポイントとして有名。



ベニハヤト(さつま芋)の皮を剥ぎ、4~5時間煮込み、1~2週間かけてじっくりと干す。先人の知恵に磨きかけた究極のスローフード。

【問い合わせ先】

大月町 総務政策課 TEL0880-73-1111



美しい大月町を、未来を担う子どもたちに残すため、平成18年9月に全12基からなる風力発電所「大月ウインドファーム」を建設。

漁師の「ごちそう」

「鮭のへら寿司」

五〇年以上続く伝統的郷土料理を全国の皆さんに味わっていただきたい

昭和四〇年代前半ころまでブリの豊漁でにぎわった古満目地区。「泣きよつたら、ブリ食わせるぞ」と言うほど泣きやむという逸話が残っているほど、毎日のように食べられていたブリの寿司。普通の食べ方に飽きた漁師が考えた料理と言われている。

柚子が香る甘酸っぱい酢飯を、ややお酢を利かせたブリで上下に挟んだとても上品で贅沢な料理。



お酢を少し利かせた生に近いブリの旨味と、やや甘めの酢飯のほどよいバランスが絶妙。

【問い合わせ先】

(財)大月町ふるさと振興公社 TEL0880-73-1610

DATA

総人口 6,124人
世帯数 2,877世帯
面積 103.02km²
人口密度 59.43人/km²



三原村



どぶろく特区とどぶろくまつり
三原米が生み出す芳醇な味わい



どぶろくまつりに笑顔で参加。



三原の伝統の味は、いっそう多くの人たちを楽しませ続けている。

昼夜の寒暖差が大きい盆地気候の三原村は、天与の名水にも恵まれた米どころ。「どぶろく」は米を発酵させて造る濁酒。三原村でも古くから伝わっていたが、自家用酒造禁止に伴いその味は伝説となっていた。この伝統の味を復活させようと取り組んだのが平成16年に認定を受けた「どぶろく特区」。多くの人に復活したこの味を知ってもらいたいとの思いから「どぶろくまつり」も始まった。まつりには県外からの来場者も増加している。



どぶろくを生地に練りこんだ「どぶろく饅頭」や「どぶろくプリン」も大好評。

【問い合わせ先】
三原村役場 TEL0880-46-2111



土佐端溪石の硯



硯づくり



原石の採掘現場



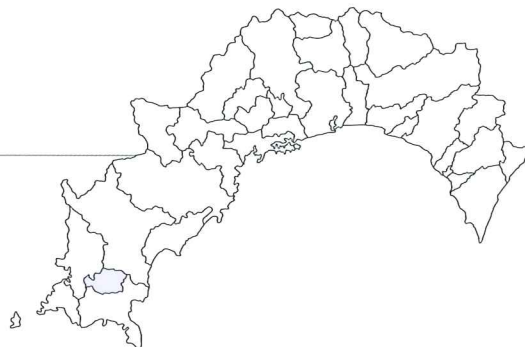
原石

あなただけのオリジナル「土佐硯」
「土佐端溪石の硯」は品質の良さでは全国に知られている。石質は約6千万年前の中世代白亜紀須崎層の黒色粘板岩。昭和41年、書家・新谷健吉氏が下切源谷で硯の原石を発見したことから生産が始まった。この硯は書道家により中国の端溪石の硯にも劣らない高い評価を受けている。ゆつたりとした自然環境のなかで、「硯加工体験」はいかがですか。一泊二日の日程で、お気に入りの硯をあなた自身で制作することができます。

【問い合わせ先】
三原村商工会事務所 TEL0880-46-2437

DATA

総人口 1,750人
世帯数 789世帯
面積 85.35km²
人口密度 20.5人/km²



くろ しお ちょう

黒潮町

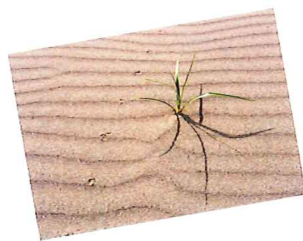
私たちの町には美術館がありません。
美しい砂浜が美術館です。

黒潮町入野の延長約4キロメートルの砂浜をそのまま美術館に見立てた「砂浜美術館」。館長は、沖を泳ぐニタリクジラ。作品は、砂浜に咲くらっきょうや、流れ着く漂流物、波と風がデザインする模様。1989年から始まった「Tシャツアート展」は、一般応募した作品をTシャツにプリントし、砂浜に洗濯物を干すように並べて展示。他にも、らっきょうの花見や、漂流物展など、自然を生かしたユニークなイベントを開催している。



ホエールウォッチング(4~10月・要予約)では、クジラやイルカが見られる。

11月になると可憐な薄紫色の花を咲かせるらっきょう。上旬には松原で「潮風のキルト展」を開催する。



5月の連休に行われるTシャツアート展。砂浜に約1,000枚のTシャツがひらひら。

【問い合わせ先】

NPO砂浜美術館 TEL0880-43-4915

釣ったその日に味わう

日戻り

カツオのたたき

黒潮町佐賀は、日本のカツオ一本釣漁の基地として有名。漁港のすぐ隣にある「黒潮一番館」では、その日の朝水揚げしたカツオを午後には食べられる。カツオのたたきづくり体験も(要予約)。わら焼きカツオを地元日塩で召し上がれ!



黒潮一番館では、カツオのたたきづくり体験や、レストランでの食事もできる。



たたきはポン酢のタレが一般的だが、本場の漁師は塩で食べる。

【問い合わせ先】

カツオふれあいセンター 黒潮一番館
TEL0880-55-3680

DATA

総人口 12,946人
世帯数 5,749世帯
面積 188.47km²
人口密度 68.69人/km²

